2027(令和9)年度

北九州市立大学大学院

法学研究科(修士課程)
法律学専攻

社会システム研究科(博士前期課程)
現代経済専攻
地域コミュニティ専攻
文化・言語専攻

学生募集要項

公立大学法人
北九州市立大学
THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU

目　次

A　教育目的、アドミッション・ポリシー
1　法学研究科（修士課程）……1ページ
2　社会システム研究科（博士前期課程）……2ページ

B　入学試験概要
1　法学研究科（修士課程）実施日程、募集人員……4ページ
2　社会システム研究科（博士前期課程）実施日程、募集人員……5ページ
3　試験科目……6ページ

C　出願について
1　法学研究科出願資格……8ページ
2　社会システム研究科出願資格……9ページ
3　出願手続……10ページ
4　出願書類……12ページ
5　出願上の注意……14ページ
6　受験及び修学上の配慮について……14ページ
7　受験票について……14ページ
8　個別の入学資格審査について……14ページ
9　過去問題の閲覧について……15ページ
10　個人情報の取扱いについて……15ページ

D　試験について
1　試験会場……16ページ
2　受験上の注意……16ページ

E　試験後
1　合格発表……16ページ
2　入学手続……17ページ
3　入学金等納入金一覧……17ページ
4　年間授業料……17ページ

F　入試における感染防止対策について……18ページ

G　各研究科(専攻)の概要
1　法学研究科（法律学専攻）……19ページ
2　社会システム研究科……24ページ
(1)現代経済専攻……24ページ
(2)地域コミュニティ専攻……26ページ
(3)文化・言語専攻……28ページ
(4)授業科目……30ページ

【募集要項添付書類様式】

・入学志願者調書　　様式１

・入学資格審査申請書　　様式２（その１）～様式２（その２）

A 教育目的、アドミッション・ポリシー

1 法学研究科（修士課程）

<table>
<tr><td></td><td colspan="5">法律学専攻</td></tr>
<tr><td rowspan="3">《教育目的》</td><td colspan="5">高度化・複雑化する地域社会における多様な法的・政策的課題に対応しうる高度な研究能力を備えた人材、専門的知識を持ちかつ適切な問題解決能力を備えた人材、地域貢献を目指す高度で知的素養のある社会人の養成</td></tr>
<tr><td colspan="3">研究者コース</td><td colspan="2">専修コース</td></tr>
<tr><td colspan="3">高度専門教育に対する社会的需要の高まりに対応して、法律学・政策科学等の社会科学の分野の研究者として必要となる精緻な専門的知識、創造性豊かな優れた研究能力・問題分析能力、高度な実践能力を備えた人材の養成</td><td colspan="2">高度専門教育に対する社会的需要の高まりに対応して、高度で知的な法学の素養を持ち、法律学、政策科学のいずれかに軸足を置いた創造性豊かな優れた研究能力、専門的・実践的知識を身につけた高度専門職業人または社会人の養成</td></tr>
<tr><td rowspan="2">《求める学生像》</td><td colspan="2">法律学系</td><td>政策科学系</td><td>法律学系</td><td>政策科学系</td></tr>
<tr><td colspan="2">○法律学に関する基礎知識を備え、自らが専攻する法分野において研究者を目指すのに相応しい優れた学識と適性を備えた人</td><td>○政治学・行政学などの社会科学に関する基礎知識を備え、自らが専攻する政策科学の分野において研究者を目指すのに相応しい優れた学識と適性を備えた人
○社会問題の解決に自らの研究成果を積極的に生かし、未来社会の構築に積極的に貢献しようとする姿勢を有した人</td><td>○大学卒業後、そのまま進学して公務員、司法書士、裁判所事務官・検察事務官などの隣接法律専門職を目指す人
○学士課程で修得した法律知識を補強し、さらに高度の法的素養を備えた社会人を目指す人
○実社会の経験を基に、法的課題をより専門的に考究する意欲があり、そのための基礎的な知識、能力が備わっている社会人
○リカレント教育または生涯教育を志す社会人</td><td>○学士課程では十分学習できなかった政策学的知識を補強するべく引き続き幅広く勉学を続け、高度の政策的素養を備えた公務員、教員、政治家、ジャーナリストなどの高度専門職業人を目指す人
○実社会の経験を基に、政策に関連した特定の課題に強い関心を持ち、その専門的な知見を深め、研究成果を社会に還元することで地域社会等の問題解決・発展に貢献したいと考えている社会人
○リカレント教育または生涯教育を志し、職業経験を通じて養われた専門的知見を学問的見地からより深め、それを再び職業経験や社会的活動の中で活かすことを望む社会人</td></tr>
<tr><td rowspan="3">《求める能力》</td><td>(1)知識・技能</td><td>○研究者として法律学を学ぶために必要な幅広い法的専門知識と法的素養を身につけている。
○研究者として論文を執筆するために必要な、法令の解釈や適用に関する基礎的なスキルを身につけている。</td><td>○研究者として政策科学系の領域を研究するうえで必要となる社会科学の知識・方法論、語学運用能力を備えている。
○政策科学系の分野を研究するうえで不可欠となる定量的あるいは定性的分析を行う能力を有している。</td><td>○法律学を学ぶために必要な基礎学力や幅広い教養、経験を有している。
○論文の執筆に必要な日本語能力やディスカッションに必要なコミュニケーション能力を有している。</td><td>○社会問題に強い関心をもち、専門研究を進める上で基礎となる社会科学の素養や分析手法を身につけている。
○自らの専門研究に必要となる基礎的読解力、論文作成に必要な文章作成力、語学運用力を有している。</td></tr>
<tr><td>(2)思考力・判断力・表現力等の能力</td><td>○法律学上の諸問題について、論理的に思考し、判断するための幅広い法的素養を持っている。
○法律学の専門書を読解する能力や、法的議論を展開する表現力を身につけている。</td><td>○研究者になるに相応しい論理的思考力、読解力を有し、どのような分析手法を用いたらよいかについて適切な判断力を有している。
○自らの考えについて説得力のある議論を展開し、研究内容・成果を適切に表現することができる。</td><td>○法的諸問題について論理的に思考し、判断するための法的素養を持っている。
○法律に関する文章を読解する能力や、法的議論を展開する表現力を身につけている。</td><td>○自らの研究する政策科学の分野について論理的に思考し、研究内容・成果を相手に適切に伝え、文章化する基礎的な表現力を身につけている。
○社会問題の現状分析を適切な手法を用いて行う判断力と解決策について提言する基礎的能力を有している。</td></tr>
<tr><td>(3)主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度</td><td>○他者と協働しつつ、リーダーシップを発揮する、研究者として必要な自律的な姿勢を有している。
○地域社会が抱える法的諸問題に対して、研究者として取り組む主体的な意欲を有している。</td><td>○地域をはじめとした社会問題の解決に際して、研究者として主体性を持ち、多様な人々と協働して取り組む姿勢を有している。
○自らが研究する分野において、研究者をはじめ多様な人々と協働して研究する姿勢を有している。</td><td>○他者と協働しつつ、リーダーシップを発揮する自律的な姿勢を有している。
○地域社会が抱える社会的諸問題に対して、積極的に関わろうとする主体的な意欲を有している。</td><td>○地域等を中心とした社会問題に対して、研究成果を積極的に生かし、主体性をもって多様な人々と協働して問題を解決しようという強い意欲や態度を有している。</td></tr>
</table>

2 社会システム研究科（博士前期課程）

		現代経済専攻	地域コミュニティ専攻
《教育目的》		国内外の経済社会の動向を的確に把握し、経済・経営の抱える課題について実践的、理論的に解決策を提示できる人材、公共的業務や企業等において活躍できる高度な専門職業人及び研究者の養成	地域コミュニティの現代的再生を目指し、人間関係に係る学際的学問領域を統合した高度専門リカレント教育と高度な専門職業人及び研究者の養成
《求める学生像》		○経済または経営分野に関する理論や基礎的なデータ分析能力を有し、企業等の調査研究職や大学教員を目指す人や会計学の知識を持ち、税理士・公認会計士等の職業会計人を目指す人 ○すでに一定のキャリアを積み、さらにより高度な経済・経営の専門知識を修得したいと考えている人や、政策能力を身につけ、公務員等として地域に貢献したいと考えている人 ○経済学・経営学のより深い修得を通じて母国の経済発展に寄与したいと考えている留学生	○生活の場である地域コミュニティに貢献する保健、福祉、教育等の専門職に従事し、リカレント教育の一環として学習を希望する社会人 ○地域における問題や課題を認識し、地域コミュニティが直面する問題を実践的に探求、解決しようとする意欲を持つ人 ○心理学、社会学、社会福祉学、人類学、環境学、生涯学習学、教育学などの分野について関心を持ち、専門的研究を目指す学生および留学生
《求める能力》	(1)知識・技能	○経済学、経営学についての専門的研究に必要な基礎知識を有している。 ○日本語・英語に基づいたコミュニケーション能力と資料分析に必要な語学力・分析力などの基本的技能を身につけている。	○心理学、社会学、社会福祉学、人類学、環境学、生涯学習学、教育学についての専門的研究に必要な基礎知識を有している。 ○日本語に基づいたコミュニケーション能力と資料分析に必要な基本的技能を身につけている。
	(2)思考力・判断力・表現力等の能力	○経済学、経営学の分野における様々な課題を解決するための思考力・判断力を有している。 ○研究活動を通じて得られた成果を、論文・学会などで適切に発表する表現力を身につけている。	○心理学、社会学、社会福祉学、人類学、環境学、生涯学習学、教育学の分野における様々な課題を解決するための思考力・判断力を有している。 ○研究活動を通じて得られた成果を、論文・学会などで適切に発表する表現力を身につけている。
	(3)主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	○研究者としての自律的な主体性を持って自らの研究に取り組むことができる。 ○地域社会や学会の多様な人々と協働して問題の解決に取り組む素養を持っている。	○研究者としての自律的な主体性を持って自らの研究に取り組むことができる。 ○地域社会や学会の多様な人々と協働して問題の解決に取り組む素養を持っている。

文化・言語専攻		
文化と言語に係る専門知識と能力を涵養し、深い洞察力と広い視野を持つ人材、高度な専門職業人及び研究者の養成		
英米言語文化領域	中国言語文化領域	比較文化領域
○高度な言語力を生かし、英語圏の言語・文学・文化についての研究を目指して、国際社会における異言語・文化間に架橋できる広い視野を具えようとする学生および留学生 ○すでに英語の普通一種免許状を取得し、言語・文化に関する専門知識と研究能力を一層向上させるため、英語の専修免許状を取得しようとする人 ○すでに積み上げた一定のキャリアを一層専門的に向上させ、大学・短大などの教員または各種の研究施設の研究者を目指す人	○すでに身につけている高度な言語力を生かし、中華文化圏の言語・文学・思想・文化の専門分野についての研究を目指して、国際社会における異言語・文化間に架橋できるような広い視野を具えようとする学生および留学生 ○すでに積み上げた一定のキャリアを一層専門的に向上させ、大学・短大などの教員または各種の研究施設の研究者を目指す人	○言語、文学、思想、文化などの専門分野の研究を目指して、国際社会における異言語・文化間に架橋できるような広い視野を具えようとする人 ○すでに積み上げた一定のキャリアを一層専門的に向上させ、大学・短大などの教員または各種の研究施設の研究者を目指す人 ○言語・文化に関する一定の知識を有し、グローバル化する世界情勢に対応するため、日本語・日本文化のみならず英語、中国語などと自国の言語・文化との比較研究を行いたい学生および留学生
○英語圏の言語・文学・文化についての専門的研究に必要な基礎知識を有している。 ○日本語・英語に基づいたコミュニケーション能力と資料分析に必要な語学力・分析力などの基本的技能を身につけている。	○中華文化圏の言語・文学・思想・文化についての専門的研究に必要な基礎知識を有している。 ○日本語・中国語に基づいたコミュニケーション能力と資料分析に必要な語学力・分析力などの基本的技能を身につけている。	○比較文化、言語、日本文化についての専門的研究に必要な基礎知識を有している。 ○日本語・英語に基づいたコミュニケーション能力と資料分析に必要な語学力・分析力などの基本的技能を身につけている。
○英語圏の言語・文学・文化の分野における様々な課題を解決するための思考力・判断力を有している。 ○研究活動を通じて得られた成果を、論文・学会などで適切に発表する表現力を身につけている。	○中華文化圏の言語・文学・思想・文化の分野における様々な課題を解決するための思考力・判断力を有している。 ○研究活動を通じて得られた成果を、論文・学会などで適切に発表する表現力を身につけている。	○比較文化、言語、日本文化の分野における様々な課題を解決するための思考力・判断力を有している。 ○研究活動を通じて得られた成果を、論文・学会などで適切に発表する表現力を身につけている。
○研究者としての自律的な主体性を持って自らの研究に取り組むことができる。 ○地域社会や学会の多様な人々と協働して問題の解決に取り組む素養を持っている。	○研究者としての自律的な主体性を持って自らの研究に取り組むことができる。 ○地域社会や学会の多様な人々と協働して問題の解決に取り組む素養を持っている。	○研究者としての自律的な主体性を持って自らの研究に取り組むことができる。 ○地域社会や学会の多様な人々と協働して問題の解決に取り組む素養を持っている。

B 入学試験概要

1 法学研究科(修士課程)実施日程、募集人員

日程	夏 期 日 程	冬 期 日 程
選 抜 区 分	一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜	
願 書 受 付	2026年７月14日(火)～７月21日(火)必着	2026年11月30日(月)～12月４日(金)必着
受験票 印 刷 可能期間	2026年８月17日(月)～2027年１月22日(金)	2027年１月13日(水)～3月15日(月)
試験日	2026年８月30日(日)	2027年１月31日(日)
合 格 発 表	2026年９月４日(金)	2027年２月５日(金)
入 学 手 続	2027年１月19日(火)～１月22日(金)	2027年３月９日(火)～３月15日(月) 〔海外在住者 2027年２月17日(水)～２月26日(金)※〕

※ 在留資格「留学」により本学への留学を希望する場合、「在留資格認定証明書(Certificate of Eligibility)」の交付を受ける必要があります。交付を希望する方は、２月26日(金)までに手続を完了してください。

コース	選抜区分	分 野	募集	集合場所	集合時間	試験科目	時 間
研究者コース	一 般 選 抜	法 律 学 系	夏期3名・冬期3名	北方キャンパス本館	8:30 集合	論文試験 英 語 面 接	9:00～12:00 14:00～
		政策科学系					
	外国人留学生 特 別 選 抜	法 律 学 系				論文試験 面 接	9:00～11:00 14:00～
		政策科学系					
専修コース	一 般 選 抜	法 律 学 系			8:30 集合	論文試験 面 接	9:00～10:30 14:00～
		政策科学系					
	外国人留学生 特 別 選 抜	法 律 学 系				論文試験 面 接	9:00～11:00 14:00～
		政策科学系					
	社 会 人 特 別 選 抜	法 律 学 系			13:45 集合	書類審査 面 接	14:00～
		政策科学系					

2 社会システム研究科（博士前期課程）実施日程、募集人員

日程	夏 期 日 程	冬 期 日 程
選 抜 区 分	一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜	
願 書 受 付	2026年７月14日（火）～７月21日（火）必着	2026年11月30日（月）～12月４日（金）必着
受験票 印 刷 可能期間	2026年8月17日（月）～2027年１月22日（金）	2027年１月13日（水）～３月15日（月）
試験日	2026年８月30日（日）	2027年１月 31 日（日）
合 格 発 表	2026年９月４日（金）	2027年２月５日（金）
入 学 手 続	2027年１月19日（火）～１月22日（金）	2027年３月９日（火）～３月15日（月） 〔海外在住者 2027年２月17日（水）～２月26日（金）※〕

※ 在留資格「留学」により本学への留学を希望する場合、「在留資格認定証明書（Certificate of Eligibility）」の交付を受ける必要があります。交付を希望する方は、２月26日（金）までに手続を完了してください。

専 攻 領 域 （分 野）	選抜区分	募集	集合場所	集合時間	試験科目	時 間
現代経済専攻 経済学 （経済） （会計・経営）	一般選抜 社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜	４名	北方キャンパス本館	10:40 集合	専門問題（論文試験） 面接	11:00～13:00 14:00～
地域コミュニティ専攻 人間関係学 （コミュニティ基礎） （コミュニティ実践） （フィールド文化）	一般選抜 社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜	８名		8:30 集合	一般問題（小論文） 専門問題（論文試験） 面接	9:00～10:30 11:00～12:30 14:00～
文化・言語専攻 英米言語文化 中国言語文化 比較文化 （比較文化・言語）	一般選抜	10名		8:30 集合	一般問題 （英語／中国語／小論文） 専門問題（論文試験） 面接	9:00～10:30
	社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜			10:40 集合		11:00～12:30 14:00～

3 試験科目

(1)法学研究科(法律学専攻)

コース	選抜区分	分野	試験科目	出 題 範 囲	試験時間
研究者コース	一般選抜	法律学系	論文試験	別表1の第1類の科目から専攻を希望する1科目	9:00～12:00(180分)
			英　語		
			面　接		14:00～
		政策科学系	論文試験	別表2の第1類の科目から専攻を希望する1科目	9:00～12:00(180分)
			英　語		
			面　接		14:00～
	外国人留学生特別選抜	法律学系	論文試験	別表1の第1類の科目から専攻を希望する1科目	9:00～11:00(120分)
			面　接		14:00～
		政策科学系	論文試験	別表2の第1類の科目から専攻を希望する1科目	9:00～11:00(120分)
			面　接		14:00～
専修コース	一般選抜	法律学系	論文試験	別表1の第2類の科目から専攻を希望する1科目	9:00～10:30(90分)
			面　接		14:00～
		政策科学系	論文試験	別表2の第2類の科目から専攻を希望する1科目	9:00～10:30(90分)
			面　接		14:00～
	外国人留学生特別選抜	法律学系	論文試験	別表1の第2類の科目から専攻を希望する1科目	9:00～11:00(120分)
			面　接		14:00～
		政策科学系	論文試験	別表2の第2類の科目から専攻を希望する1科目	9:00～11:00(120分)
			面　接		14:00～
	社会人特別選抜	法律学系	書類審査		14:00～
		政策科学系	面　接		

(注1) 選択するコース・分野及び科目名をインターネット出願システムに登録してください。

(注2) 判例・解説等のついていない六法の持込を許可します(下線、記号等を含む一切の書き込みがないものに限る)。六法の貸与は行いません。

(注3) 英語を受験する者については、英和辞書(電子辞書等を除く)の持込を許可します。辞書の貸与は行いません。

(注4) 論文試験及び面接は、日本語で行います。

別表1(法律学系・試験科目)

第1類	憲法、行政法、民法、刑法、刑事訴訟法、刑事学、社会保障法、法社会学、国際法
第2類	憲法、行政法、民法、民事訴訟法、商法、刑法、刑事訴訟法、刑事学、社会保障法、労働法、法社会学、国際法

別表2(政策科学系・試験科目)

第1類	行政学、福祉政策論、環境政策論、政策評価論、政治思想、都市社会学、都市工学論
第2類	行政学、都市社会学、環境政策論、公共政策論、福祉政策論、政策評価論、比較政治学、政治思想、政治行動論、都市経済論、都市工学論

【選考方法】

(一般選抜・外国人留学生特別選抜) 学力検査、面接、入学志願者調書、成績証明書等を総合して行います。

(社会人特別選抜) 研究計画書、志望動機、面接、入学志願者調書、成績証明書等を総合して行います。

（2）社会システム研究科

「現代経済専攻」

選抜区分	試験科目	出 題 範 囲 等	試験時間
一般選抜※ 社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜	専門問題	分野別共通問題：経済学基礎理論／経営学基礎理論から志望する研究分野の問題を選択 専門選択問題：別表の経済分野／会計・経営分野の科目群から希望する研究指導教員の担当科目に関する問題を選択	11:00～13:00 （120分）
	面　　接	研究計画書に基づいて面接	14:00～

※一般選抜では、TOEIC L&R500 点以上のスコアを有する者が出願できます、提出すべき成績通知書は、TOEIC「公式認定証」とし、出願時から遡って2年間の成績を有効とします。TOEIC IP では出願できません。

別表

経 済 分 野：	マクロ経済学、ミクロ経済学、統計学、地域経済論、経済史、金融論、国際金融論、産業組織論、計量経済学、労働経済学、環境経済学、応用地域科学
会計・経営分野：	会計学、財務会計、マーケティング、経営組織論、情報管理基礎、経営戦略論、人的資源管理

【選考方法】学力検査、面接、入学志願者調書、成績証明書等を総合して行います。

「地域コミュニティ専攻」

選抜区分	試験科目	出 題 範 囲 等	試験時間
一般選抜 社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜	一般問題	小論文	9:00～10:30（90分）
	専門問題	論文試験（希望する研究分野に関連する問題）	11:00～12:30（90分）
	面　　接	研究計画書に基づいて面接	14:00～

【選考方法】学力検査、面接、入学志願者調書、成績証明書等を総合して行います。

「文化・言語専攻」

選抜区分	試験科目	出 題 範 囲 等	試験時間
一般選抜	一般問題	英米言語文化領域：英語 中国言語文化領域：中国語 比較文化領域：小論文若しくは英語から指定	9:00～10:30（90分）
	専門問題	論文試験（希望する研究分野に関する問題）	11:00～12:30（90分）
	面　　接	研究計画書に基づいて面接	14:00～
社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜	専門問題	論文試験（希望する研究分野に関する問題）	11:00～12:30（90分）
	面　　接	研究計画書に基づいて面接	14:00～

（注）辞書の持込はできません。

【選考方法】学力検査、面接、入学志願者調書、成績証明書等を総合して行います。

C 出願について

1 法学研究科出願資格

（1） 一般選抜

次のいずれかに該当する者

① 大学を卒業した者又は2027年 3 月までに卒業見込みの者

② 学校教育法第 104 条第7項の規定により学士の学位を授与された者又は大学院入学の前年度に学位取得見込みの者

③ 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者又は大学院入学の前年度に修了見込みの者

④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は大学院入学の前年度に修了見込みの者

⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は大学院入学の前年度に修了見込みの者

⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者

⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であること。その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）又は専攻科（当該専攻科を置く専修学校の特定専門課程（学校教育法第125条の2第1項に規定する特定専門課程をいう。以下同じ。）における教育との連続性に配慮した教育課程を編成していることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者

⑧ 文部科学大臣の指定した者

⑨ 本大学院研究科委員会において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月31日までに 22 歳に達する者

（2） 社会人特別選抜

上記(1)の各号のいずれかに該当し、2027年4月1日までに各課程等修了後2年以上経過する者または有識者

（3） 外国人留学生特別選抜

日本国籍を有しない者で、次のいずれかに該当する者

① 大学を卒業した者又は2027年 3 月までに卒業見込みの者（注）

② 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者又は2027年 3 月までに修了見込みの者

③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は2027年 3 月までに修了見込みの者

④ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は2027年 3 月までに修了見込みの者

⑤ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者

⑥ 文部科学大臣の指定した者

⑦ 本大学院研究科委員会において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年 3 月31日までに 22 歳に達する者

（注）外国人留学生として卒業した者及び卒業見込みの者に限る。

《入学に際しての留意事項》

在留資格が「留学」でない者は、留学生に対する各種奨学金等の対象にならないことがあります。

「留学」への変更を希望する場合、所定の手続きにより在留資格を変更することも可能です。

2 社会システム研究科出願資格

（1） 一般選抜

次のいずれかに該当する者。なお、現代経済専攻を志願する者は、TOEIC L&R500点（注）以上のスコアを有する者。

（注）TOEIC スコアの成績は、出願時から遡って2年間の成績を有効とし、提出すべき成績通知書は、 TOEIC「公式認定証」とします。TOEIC IP では出願できません。

① 大学を卒業した者又は2027年 3 月までに卒業見込みの者
② 学校教育法第 104 条第7項の規定により学士の学位を授与された者又は大学院入学の前年度に学位取得見込みの者
③ 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者又は大学院入学の前年度に修了見込みの者
④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は大学院入学の前年度に修了見込みの者
⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は大学院入学の前年度に修了見込みの者
⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であること。その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）又は専攻科（当該専攻科を置く専修学校の特定専門課程（学校教育法第125条の2第1項に規定する特定専門課程をいう。以下同じ。）における教育との連続性に配慮した教育課程を編成していることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
⑧ 文部科学大臣の指定した者
⑨ 本大学院研究科委員会において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月31日までに 22 歳に達する者

（2） 社会人特別選抜

上記(1)の各号のいずれかに該当し、2027年 4 月 1 日までに各課程等修了後3年以上経過する者

（3） 外国人留学生特別選抜

日本国籍を有しない者で、次のいずれかに該当する者

① 大学を卒業した者又は2027年 3 月までに卒業見込みの者（注）
② 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者又は2027年 3 月までに修了見込みの者
③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は2027年 3 月までに修了見込みの者
④ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は2027年 3 月までに修了見込みの者
⑤ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
⑥ 文部科学大臣の指定した者
⑦ 本大学院研究科委員会において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年 3 月31日までに 22 歳に達する者

（注）外国人留学生として卒業した者及び卒業見込みの者に限る。

《入学に際しての留意事項》

在留資格が「留学」でない者は、留学生に対する各種奨学金等の対象にならないことがあります。
「留学」への変更を希望する場合、所定の手続きにより在留資格を変更することも可能です。

3 出願手続

（1）出願方法

① 事前準備

ア　インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等の準備

学校など自宅外のパソコンからも出願できます。インターネット出願ができる環境が整っていない場合は、事前に北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係（093-964-4022）までご相談ください。

イ　プリンターの準備

Ａ４サイズの用紙が印刷できるプリンター（白黒、カラーは問いません）が必要です。

出願確認票や宛名ラベル、受験票等を印刷する際に必要になります。

ウ　利用可能なメールアドレスの準備

電子メールアドレスが必要になります。スマートフォン・携帯電話のメールアドレスやフリーメールのアドレスも利用可能です。

本学から、入学試験に関する重要なお知らせ（出願登録確認・入学検定料支払い確認等）を配信します。

エ　入学検定料支払い方法の確認

コンビニエンスストア、クレジットカード、銀行ＡＴＭ、ネットバンキングでの支払い方法があります。支払い方法は「インターネット出願」サイトにアクセスして確認してください。

オ　必要書類の準備

証明書、顔写真等の出願に必要な書類等は、発行や作成に時間がかかる場合がありますので、早めに準備をしてください。

カ　角形２号(角２)封筒の準備

出願書類を提出するため、市販の角形２号(角２)(24cm×33.2cm)封筒を事前に準備してください。

② 出願登録

インターネットによる「出願登録」を行います。

出願登録等の手順は、「インターネット出願」サイトにアクセスして確認してください。

③ 入学検定料の支払い

入学検定料30,000円（別途、サービス利用料900円）をお支払いください。

入学検定料の支払い手順は、「インターネット出願」サイトにアクセスして確認してください。

④ 出願書類の提出

出願登録、入学検定料支払い後、出願書類を提出してください。

出願書類の提出方法は、**「3(2) 出願期間等」**、**「3(3)出願書類の提出方法」**、**「4 出願書類」**を確認してください。

■インターネットを利用した出願の流れ（イメージ）

※本学ホームページにアクセスしづらい場合は、直接「インターネット出願サイト（https://www.guide.52school.com/guidance/net-kitakyu-u/)」にアクセスしてください。

※出願の流れは、各研究科（再入学を除く）共通の流れです。出願書類は各研究科で異なりますので、それぞれの学生募集要項を必ず確認してください。

（2） 出願期間等

出願登録・入学検定料支払期間 （インターネット入力等）	法　学　研　究　科：夏期日程 （一般・社会人・外国人留学生）	2026年７月７日（火） ～ ７月21日（火）16：00まで
	社会システム研究科：夏期日程 （一般・社会人・外国人留学生）	
	法　学　研　究　科：冬期日程 （一般・社会人・外国人留学生）	2026年11月20日（金） ～ 12月４日（金）16：00まで
	社会システム研究科：冬期日程 （一般・社会人・外国人留学生）	
出願期間 （出願書類の提出）	法　学　研　究　科：夏期日程 （一般・社会人・外国人留学生）	2026年７月14日（火） ～ ７月21日（火）必着
	社会システム研究科：夏期日程 （一般・社会人・外国人留学生）	
	法　学　研　究　科：冬期日程 （一般・社会人・外国人留学生）	2026年11月30日（月） ～ 12月４日（金）必着
	社会システム研究科：冬期日程 （一般・社会人・外国人留学生）	

（3） 出願書類の提出方法

出願書類は次の方法で提出してください。なお、提出は、必ず「出願期間」内としてください。出願期間外（出願登録・入学検定料支払期間内の7/7～7/13（夏期）、11/20～11/29（冬期）も含む）は受理できませんのでご注意ください。

※原則、郵送での提出をお願いします。

① 郵送する場合

出願書類一式を入れた封筒に宛名ラベル（4　出願書類参照。以下同じ。）を貼付して、必ず**速達・簡易書留**で上記期間内に到着するよう郵送してください。ただし、出願受付期間最終日の前日以前の発信局（日本国内）消印のある速達・簡易書留郵便に限り、上記受付期間後に到着した場合でも受理します。

日本国外から提出する場合は必ずEMS（国際スピード郵便）を利用してください。この場合、郵送期間を十分考慮して出願受付期間内に到着するよう郵送してください。

送付先　〒802－8577　北九州市小倉南区北方四丁目２番１号
北九州市立大学　入試・研究支援課入学試験係

② 窓口持参する場合

本学に直接持参する場合は、次のとおり入試・研究支援課入学試験係窓口（北方キャンパス本館１階）にて受付を行います。出願書類一式を入れた封筒に宛名ラベルを貼付して、上記受付期間内に出願してください。（土・日・祝日は除く。）

受付時間　平日 9：00～16：00（12：15～13：15 を除く）

4 出願書類

出願者は、下記の書類を一括して、角形2号（24cm×33.2cm）の封筒（各自で用意してください）に入れ、封筒の表に「③宛名ラベル」を貼付して、入試・研究支援課入学試験係まで提出してください。

（1） 法学研究科出願書類

① 一般選抜・社会人特別選抜

	書類等	提出者	摘要
インターネット出願登録内容の印刷	① 出願確認票	全員	インターネット出願登録後、印刷してください。
	② 写真票		インターネット出願登録後、印刷したものに、上半身・脱帽・無背景・正面向きで出願前3カ月以内に撮影した縦4cm×横3cmサイズの写真の裏側に氏名を記入の上、所定欄に貼付してください。 ※カラー・白黒は問いません。 ※写真は加工しないでください。
	③ 宛名ラベル		インターネット出願登録後、印刷してください。角形2号（角2）封筒に宛名ラベルを貼り付け、出願書類一式を確認し、□にチェック印をつけて封入してください。
その他必要書類	④ 入学志願者調書 **様式1**	全員	所定の様式に従って記入してください。（研究計画書・入学志望理由書（指定された様式）含む）
	⑤ 出身大学の成績証明書		原本。大学を 2027 年3月31日までに卒業見込みの者を含む。 ※入学資格審査を申請し、認められた者は不要。
	⑥ 出願資格を証明する書類		次のいずれかの書類（原本） ア 出身大学発行の卒業証明書又は卒業見込証明書 イ 学校教育基本法第 104 条第7項第1号の規定による学位取得見込み者は、在籍する専攻科の短期大学長又は高等専門学校長の発行する下記のいずれかの証明書 （1）専攻科修了見込証明書 （2）学位の授与を申請する予定の証明書 ウ 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構によりすでに学位を授与されている者は、学位授与証明書 ※中国の大学を卒業した方は、中国学籍・学歴認証センター日本代理機構（CHSI（日本））が発行する英語版の学歴認証報告書（原本）での代用を認めます。
	⑦ 住民票	外国人留学生	原本（居住地の市町村長発行の在留資格及び在留期間が記載されているもの。）。**外国人留学生のみ提出**してください。 ※日本に居住していない場合のみパスポートの写しでも可
	⑧ 在職証明書	社会人特別選抜志願者	**社会人特別選抜志願者のみ提出**してください。（2027 年4月1日現在、大学卒業後2年以上経過している者は不要）

※卒業証明書等の氏名が出願書類と異なっている場合は、戸籍抄（謄）本を提出してください。
※上記証明書が、日本語または英語以外で記載されている場合は、日本語に翻訳したもの（志願者本人和訳可）を添付してください。
※出願書類の作成において、ChatGPT などの生成 AI を使用しないでください。
※日本国外から出願する場合は、事前に下記連絡先まで連絡してください。
連絡先： 北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係 E-mail： nyushi2@kitakyu-u.ac.jp

② 外国人留学生特別選抜

	書類等	提出者	摘要
インターネット出願登録内容の印刷	① 出願確認票	全員	インターネット出願登録後、印刷してください。
	② 写真票		インターネット出願登録後、印刷したものに、上半身・脱帽・無背景・正面向きで出願前3カ月以内に撮影した縦4cm×横3cmサイズの写真の裏側に氏名を記入の上、所定欄に貼付してください。 ※カラー・白黒は問いません。 ※写真は加工しないでください。
	③ 宛名ラベル		インターネット出願登録後、印刷してください。角形2号（角2）封筒に宛名ラベルを貼り付け、出願書類一式を確認し、□にチェック印をつけて封入してください。

その他必要書類	④ 入学志願者調書 **様式1**	全員	所定の様式に従って記入してください。(**日本語で自筆のこと。**研究計画書・入学志望理由書(指定された様式)含む)
	⑤ 出身大学の成績証明書		原本。大学を2027年3月31日までに卒業見込みの者を含む。 ※入学資格審査を申請し、認められた者は不要
	⑥ 卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書		出身大学発行の原本。 ※中国の大学を卒業した方は、中国学籍・学歴認証センター日本代理機構(CHSI(日本))が発行する英語版の学歴認証報告書(原本)での代用を認めます。
	⑦ 住民票	外国人留学生	原本(居住地の市町村長発行の在留資格及び在留期間が記載されているもの。)。**外国人留学生のみ提出**してください。 ※日本に居住していない場合のみパスポートの写しでも可
	⑧ 日本語を習得していることの証明書		**外国人留学生は修学に差し支えない程度に日本語を習得していることの証明書(日本語能力試験の認定書、日本留学試験の「日本語」成績確認書等の写し)を提出してください。** ※本学学部を卒業した者(卒業見込みの者)については提出不要

※上記証明書が、日本語または英語以外で記載されている場合は、日本語に翻訳したもの(志願者本人和訳可)を添付してください。

※出願書類の作成において、ChatGPT などの生成 AI を使用しないでください。

※日本国外から出願する場合は、事前に下記連絡先まで連絡してください。

連絡先: 北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係 E-mail: nyushi2@kitakyu-u.ac.jp

(2) 社会システム研究科出願書類

	書類等	提出者	摘要
インターネット出願登録内容の印刷	① 出願確認票	全員	インターネット出願登録後、印刷してください。
	② 写真票		インターネット出願登録後、印刷したものに、上半身・脱帽・無背景・正面向きで出願前3カ月以内に撮影した縦4cm×横3cmサイズの写真の裏側に氏名を記入の上、所定欄に貼付してください。 ※カラー・白黒は問いません。 ※写真は加工しないでください。
	③ 宛名ラベル		インターネット出願登録後、印刷してください。角形2号(角2)封筒に宛名ラベルを貼り付け、出願書類一式を確認し、□にチェック印をつけて封入してください。
その他必要書類	④ 入学志願者調書 **様式1**	全員	所定の様式に従って記入してください。(研究計画書・志望理由含む) 研究計画書は、研究テーマ及び研究計画について A4 サイズ 1 枚(1200 字程度)で作成してください。**なお、必ず志望する専攻名と氏名を明記**してください。
	⑤ 出身大学の成績証明書		原本。大学を2027年3月31日までに卒業見込みの者を含む。 ※入学資格審査を申請し、認められた者は不要
	⑥ 出願資格を証明する書類		次のいずれかの書類(原本) ア 出身大学発行の卒業証明書又は卒業見込証明書 イ 学校教育基本法第 104 条第7項第1号の規定による学位取得見込み者は、在籍する専攻科の短期大学長又は高等専門学校長の発行する下記のいずれかの証明書 (1)専攻科修了見込証明書 (2)学位の授与を申請する予定の証明書 ウ 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構によりすでに学位を授与されている者は、学位授与証明書 ※中国の大学を卒業した方は、中国学籍・学歴認証センター日本代理機構(CHSI(日本))が発行する英語版の学歴認証報告書(原本)での代用を認めます。
	⑦ TOEIC「公式認定証」の写し	現代経済専攻一般選抜志願者	**現代経済専攻の一般選抜志願者のみ提出**してください。 出願時から遡って2年間の成績を有効とします。TOEIC IP では出願できません。
	⑧ 住民票	外国人留学生	原本(居住地の市町村長発行の在留資格及び在留期間が記載されているもの。)。**外国人留学生のみ提出**してください。 ※日本に居住していない場合のみパスポートの写しでも可
	⑨ 日本語を習得していることの証明書		**外国人留学生は修学に差し支えない程度に日本語を習得していることの証明書(日本語能力試験の認定書、日本留学試験の「日本語」成績確認書等の写し)を提出してください。** ※本学学部を卒業した者(卒業見込みの者)については提出不要

※卒業証明書等の氏名が出願書類と異なっている場合は、戸籍抄(謄)本を提出してください。

※上記証明書が、日本語または英語以外で記載されている場合は、日本語に翻訳したもの（志願者本人和訳可）を添付してください。
※出願書類の作成において、ChatGPT などの生成 AI を使用しないでください。
※日本国外から出願する場合は、事前に下記連絡先まで連絡してください。
連絡先： 北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係 E-mail： nyushi2@kitakyu-u.ac.jp

5 出願上の注意

（1） インターネットによる出願情報の登録及び入学検定料の支払いを行っただけでは出願受付完了にはなりません。出願書類を出願期間内に提出（郵送）後、出願受付完了になります。

（2） 出願受付完了後は、いかなる理由があっても出願書類の変更は認めません。

（3） 出願書類に不正の事実があった場合は、入学許可後であっても合格を取り消します。

（4） 出願書類に不備がある場合には、受理しません。

（5） 出願書類は、下記（6）アを除き、返却できません。

（6） 一旦納入した入学検定料は、次のいずれかに該当する場合を除き、返還はできません。入学検定料の返還を希望する場合は、2027年2月19日（金）までにお問い合わせください。

ア 提出書類の不備等により、出願が受理されなかった場合
イ 提出書類を郵送しなかった場合
ウ 誤って二重に入金した場合

（7） 出願資格要件を満たす見込みで受験し合格した者が、2027 年 3 月 31 日までに所定の要件を満たすことができなかった場合は、入学許可を取り消します。

（8） 出願後に住所変更を行った場合は、必ず入試・研究支援課入学試験係（093-964-4022）へ連絡してください。

（9） 日本国外から出願する場合は、事前に下記連絡先まで連絡してください。
連絡先：北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係 E-mail： nyushi2@kitakyu-u.ac.jp

（10） 社会システム研究科への出願を希望する方は、必ず出願前に、24～29ページの注意書きに従い、希望する研究指導教員との面談を行い、研究指導について確認を行ってください。また、法学研究科への出願を希望する方も、出願前に、21～22ページの注意書きに従い、希望する研究指導教員との面談を行い、研究指導について確認することを推奨します。
なお、この事前面談は、志願者と研究指導教員の研究領域の不一致を防ぐ目的で行うものであり、入学試験の合格を保証するものではありません。

6 受験及び修学上の配慮について

障害や疾病などで、受験及び修学上特別な配慮を希望する入学志願者は、その措置を講ずるための審査が必要となりますので、事前に下記連絡先へ相談の上、**出願期間初日の2週間前までに**本学が指定する書類を提出してください。詳細・指定する様式については、本学ホームページでご確認ください。

連絡先：北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係 TEL 093-964-4022
E-mail： nyushi2@kitakyu-u.ac.jp

7 受験票について

（1） 受験票印刷可能期間

夏 期 日 程	2026年 8 月17日（月）～2027年 1 月22日（金）
冬 期 日 程	2027年 1 月13日（水）～2027年 3 月15日（月）

（2） 受験票は、印刷可能期間中、インターネット出願サイトの「申込確認」画面から印刷可能です。A4 サイズの用紙に印刷し、二つ折りにしてください。

（3） 試験当日は、印刷した受験票を必ず持参してください。

（4） 受験票には、メモなどを記入しないでください。記入していることを発見した場合は、不正行為とみなす場合があります。

（5） 受験票は、入学手続に必要ですので、大切に保管してください。

8 個別の入学資格審査について

（8 ページ「出願資格」の（1）の⑨及び（3）の⑦で出願する者）
（9 ページ「出願資格」の（1）の⑨及び（3）の⑦で出願する者）

本大学院研究科が行う入学資格審査は、次のとおり出願前に個別に行います。

（1） 提出書類

○入学資格審査申請書 **様式 2**
○最終学歴の卒業証明書（原本）
○最終学歴の成績証明書（原本）

※上記証明書が日本語又は英語以外で記載されている場合は、日本語に翻訳したもの（志願者本人和訳可）を添付してください。

（２）提出期間

法　学　研　究　科：夏期日程（一般・社会人・外国人留学生）	2026年６月22日（月） ～６月25日（木）必着
社会システム研究科：夏期日程（一般・社会人・外国人留学生）	
法　学　研　究　科：冬期日程（一般・社会人・外国人留学生）	2026年10月30日（金） ～11月５日（木）必着
社会システム研究科：冬期日程（一般・社会人・外国人留学生）	

（３）提出先・提出方法

北九州市立大学　入試・研究支援課入学試験係（裏表紙参照）

<u>※原則、郵送での提出をお願いします。</u>

① 郵送する場合

必ず**速達・簡易書留**で「〇〇研究科入学資格審査申請書在中」と朱書きし、上記提出期間内に到着するよう郵送してください。

日本国外から提出する場合は必ずEMS（国際スピード郵便）を利用してください。この場合、郵送期間を十分考慮して出願受付期間内に到着するよう郵送してください。

② 窓口持参する場合

本学に直接持参する場合は、次のとおり入試・研究支援課入学試験係窓口（北方キャンパス本館1階）にて受付を行います。上記提出期間内に提出してください。（土・日・祝日は除く）

●受付時間　平日：9：00～16：00（12：15～13：15を除く）

（４）審査結果の通知

認定の結果は次の期日までに本人に郵便で発送します。

法　学　研　究　科：夏期日程（一般・社会人・外国人留学生）	2026年７月６日（月）
社会システム研究科：夏期日程（一般・社会人・外国人留学生）	
法　学　研　究　科：冬期日程（一般・社会人・外国人留学生）	2026年11月20日（金）
社会システム研究科：冬期日程（一般・社会人・外国人留学生）	

※出願資格が認定された者は、「3　出願手続」、「4　出願書類」に従って出願手続を行ってください。

※出願資格は、認定を受けた研究科が行う当該年度の試験に限り有効とします。

9 過去問題の閲覧について

過去の試験問題は、北九州市立大学　入試・研究支援課入学試験係にて閲覧できます。

その際、身分証明書（免許証、学生証等）が必要ですのでご持参ください。

●閲覧受付時間　平日　9：00～16：00（12：15～13：15を除く）

（2026年度入学試験から一部の試験問題を本学ホームページにて公表しています。）

10 個人情報の取扱いについて

北九州市立大学は出願に関して本学に提供された個人情報について、公立大学法人北九州市立大学個人情報保護管理規程に基づき、適切に取り扱います。

【個人情報の利用目的について】

本学が取得した個人情報については、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

（1）志願者の氏名、生年月日、連絡先、成績などの個人情報は、入学者選抜、合格発表、入学手続、調査研究及びこれらに付随する業務の遂行に利用します。

（2）合格者の個人情報は、入学手続者に対する入学前指導、入学後の教務関係、学生支援関係、授業料徴収関係などに関する業務のために利用します。

【個人データの取扱いの委託について】

本学は、利用目的の範囲内で、個人情報の取扱い業務の一部又は全部を外部に委託することがあります。

この場合、個人情報を適切に取り扱っていると認められる委託先を選定し、契約等において個人情報の適正管理・機密保持等により個人情報の漏洩防止に必要な事項を取り決め、適切な管理を実施させます。

D 試験について

1 試験会場

（1） 試験会場　　北九州市立大学北方キャンパス本館　北九州市小倉南区北方四丁目2番1号
（裏表紙の案内図参照）

（2） 主要交通機関　北九州モノレール利用
JR 小倉駅（乗り換え）⇒モノレール「小倉」駅乗車⇒（乗車時間約10分）⇒モノレール「競馬場前（北九州市立大学前）」駅下車⇒（徒歩約3分）⇒北九州市立大学北方キャンパス
※車での来場は固くお断りします。

2 受験上の注意

（1） 受験当日は、必ず受験票を持参してください。（受験票は、【夏期日程】8月17日（月）、【冬期日程】1月13日（水）から印刷可能）

（2） 遅刻は、筆記試験開始後30分までに入室した者に限り認めます。ただし、面接試験は集合時間経過後の遅刻は認めません。

（3） 定期に運行している公共交通機関の大幅な遅れにより試験開始時刻に遅刻した場合には、所定の試験時間を確保して試験を行います。その際、当該公共交通機関を利用したことの証明のため、乗車時刻、到着時刻等をあらかじめ記録し申告してください。（自家用車の利用による遅延は、この対象となりません。）

（4） 持参物について
・本学の受験票を必ず持参してください。
・筆記試験の受験者は、筆記用具（鉛筆（シャープペンシル）、消しゴム）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可。）を持参してください。
・試験時間中は、スマートフォン・携帯電話・ウェアラブル端末・タブレット端末等の通信機器を時計として使用することはできません。また、これらの通信機器は、必ず電源を切り、カバンにしまっておいてください。イヤホンを含め、身に付けることはできません。そのほか、電卓・そろばん・電子辞書・定規及びこれに類するものの持ち込みも厳禁です。発見した場合は、不正行為となることがあります。

（5） 所持品の取扱いについて
① 受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、次のとおりです。

・黒鉛筆、鉛筆キャップ（和歌・格言等が印刷されているものは不可。）
・シャープペンシル、シャープペンシルの芯（ケースは不可。）
・プラスチック製の消しゴム
・手動式の鉛筆削り
・時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可。）
・眼鏡、ハンカチ（英文字や地図等がプリントされているものは不可。）、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけを取り出したもの。）

② 試験時間中に、次のものを使用してはいけません。

・定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具
・携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類

（6） 面接試験は、14時から開始となります。昼食は各自で用意しておいてください。また、受験者が多い場合等、面接開始までに時間がかかることがあります。面接控室での待機となりますので、読書など長時間待機できる準備をしておいてください（スマートフォン・携帯電話等の通信機器の使用は禁止します）。

E 試験後

1 合格発表

（1） 合格発表日時

法　学　研　究　科：夏期日程（一般・社会人・外国人留学生）	2026年９月４日（金） 10時頃
社会システム研究科：夏期日程（一般・社会人・外国人留学生）	
法　学　研　究　科：冬期日程（一般・社会人・外国人留学生）	2027年２月５日（金） 10時頃
社会システム研究科：冬期日程（一般・社会人・外国人留学生）	

（2） 合格発表方法
① ホームページ　合格発表日の10時頃、本学ホームページに合格者受験番号を掲載します。
北九州市立大学ホームページ（https://www.kitakyu-u.ac.jp/entrance-exam/）
② 合格通知　合格者には、発表日当日に合格通知書を簡易書留で発送します。未着の場合、郵便局の不在票を確認してください。

※合否に関することや、受験番号の問い合わせには一切応じません。
※学内掲示は行いません。

2 入学手続

(1) 入学手続期間

法　学　研　究　科：夏期日程（一般・社会人・外国人留学生）	2027年１月19日（火）～１月22日（金）
社会システム研究科：夏期日程（一般・社会人・外国人留学生）	
法　学　研　究　科：冬期日程（一般・社会人・外国人留学生）	2027年３月９日（火）～３月15日（月） 海外在住者 ２月17日（水）～２月26日（金）※
社会システム研究科：冬期日程（一般・社会人・外国人留学生）	

※　在留資格「留学」により本学への留学を希望する場合、「在留資格認定証明書（Certificate of Eligibility）」の交付を受ける必要があります。交付を希望する方は２月26日（金）までに手続を完了してください。

(2) 入学手続に関する詳細については、「合格通知書」送付の際にお知らせする予定です。

(3) **入学手続には、受験票が必要です。大切に保管しておいてください。**

(4) 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、入学辞退として取り扱います。**理由のいかんを問わず、入学手続期間の延長は行いません。**

(5) 期間内に入学金の納入、必要書類の提出を完了した者に入学を許可します。

(6) 一旦納入した入学金は、いかなる理由があっても返還しません。

3 入学金等納入金一覧

※現行の金額です。変更となる場合があります。

種　　別		金　　額		備　　考
入　　学　　金		北九州市内居住者	282,000 円	下記 備考１参照
		上記以外の者	423,000 円	
保険料	学生教育研究災害傷害保険（学研災）	1,750 円		
	学研災付帯賠償責任保険（学研賠）	680 円		
諸会費	後援会費	会　　費	20,000 円	
			(注)15,000 円	下記 備考３参照
	同窓会費	入会金	30,000 円	本学卒業生で既に納めている方は不要
		会　　費	20,000 円	
	法学会費（法学研究科のみ）	会　　費	5,000 円	
	経済学会費（社会システム研究科現代経済専攻のみ）	入会金	1,200 円	本学経済学会既入会者は不要
		会　　費	4,400 円	

備考 1　北九州市内居住者とは、入学する本人又はその配偶者若しくは2親等内の親族が、入学の前年度において北九州市の市民税納税義務者（又は市民税非課税者）であり、かつ入学金納入のときまで引き続き北九州市内に住所を有する者をいい、それを証明する書類（市民税納税証明書、納税義務者の住民票、入学者と納税義務者の続柄のわかる書類など）が必要となります。なお、「入学の前年度において北九州市の市民税納税義務者（又は市民税非課税者）」であるためには、2026年1月1日現在北九州市に在住していることが必要です。

2　保険料及び諸会費の金額はいずれも一括納入額です。保険料及び学会費は2ヵ年分、後援会費は在籍期間中における会費、同窓会費は終身会費です。
　諸会費については、入学の必須条件ではありません。

3　本学学部から引き続き入学される方で、（学部在学）現在後援会員の方の会費は上記（注）の金額です。

4　本学では、学生の教育研究活動中の事故によるケガ等に備えて、全学生に「学生教育研究災害傷害保険」及び「学研災付帯賠償責任保険」に加入をしていただき、万が一の場合に、学生の負担軽減を図ることとしています。

※【参考】学研災付帯賠償責任保険（学研賠）：正課（特に、実験・実習等）、学校行事、課外活動及びその往復中の賠償責任事故を対象。

4 年間授業料

※現行の金額・納入方法です。入学時に変更となることがあります。

年間授業料	納入回数		納入方法
	（第1期）	（第2期）	
535,800 円	267,900 円	267,900 円	口座振替による、年間２期の分割納入です。 入学手続時に口座振替依頼書を提出していただきます。

※在学中に授業料の改定及び納入方法等の改定が行われた場合、改定時から適用されることとなります。

F　入試における感染防止対策について

「2027年度法学研究科（修士課程）、社会システム研究科（博士前期課程）入学試験」（2026年度に実施する試験）に関する「入試における感染防止対策」については、文部科学省の方針等を踏まえ、決定次第、本学ホームページ（https://www.kitakyu-u.ac.jp/entrance-exam/）に掲載いたします。

［連絡先］　北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係　TEL 093-964-4022

G 各研究科(専攻)の概要

1　法学研究科（法律学専攻）

(1)　概要

法学研究科は、本学の基本理念である「地域に根ざし、時代をリードする人材の育成と知の創造」の実現に向け、北九州都市圏を中心とする福岡・山口県域における法学に関する教育研究の中核的役割を担うため、1984 年に設置されました。設置以来、本研究科では、時代・社会のニーズの変化に対応して大学院改革にも積極的に取り組んでまいりました。2013 年度からは、社会経験・知識の豊富な社会人学生と若年学生との相互啓発を図りながら、多様な進路希望に応じた大学院教育をより充実・強化するために、従来のアドヴァンストコースと社会人コースを統合した「専修コース」と研究者養成を目的とする「研究者コース」の２つの履修コースにしました。

さらに、教育課程においても大幅な見直しをしました。2013 年度から実施された教育課程では、いわゆる「コースワーク制」を導入しています。具体的には、法律学専攻として共通する「専攻共通科目」(必修)、法律学系と政策科学系の各々に系共通の「専門基礎科目」(必修）を新設しました。学生がこれらの幅広い基礎的能力や俯瞰的なものの見方を修得した上で専門分野を選択し、それぞれの研究指導へと有機的につながるよう、これまでよりも体系的な教育課程に再編しました。なお、社会人の受け入れを容易にするため夜間を中心とした昼夜開講制、より広範な知識を修得できるためセメスター制を導入しています。

(2)　取得学位

修士（法学）

(3)　コース・系

①　研究者コース

各自の専門分野をより深く学んで、将来研究者になろうと考えている人のために、修士論文の作成を中心とした教育研究指導を行うコースです。各自が希望する専門分野に応じて、法律学系、政策科学系の２つの系を設置しています。

（法律学系）

■　導入科目である専攻共通科目において、法律学・政策科学の全体を俯瞰し、自らが専門として研究しようとする分野の法学全体の中での位置づけを把握するために必要となる知識を修得します。

■　また、同時並行的に、専門基礎科目で法律学固有の調査研究方法論を含む法律文献調査の基礎を系統的に学習し、論理的かつ批判的に分析、議論できる能力の基盤を築きます。

■　専門科目では、自らが専門として研究する法分野の高度で精緻な専門的知識とともに、課題発見・解決能力、高度化・複雑化する地域社会の多様な法的問題に対応できる総合的な視野を形成する上で必要となる関連分野の基礎的素養を身につけます。

■　研究者コースでは、担当指導教員の個別指導のもとで、将来研究者として自立するために必要な能力を身につける特別研究を履修します。専門科目で修得した高度な専門的知識と総合的な視野、専門基礎科目で身につけた調査研究方法を駆使し、自らが専門とする法分野の研究を一層深め、高度な法的思考力、法的観点から論理的かつ批判的に分析、議論できる能力を形成します。また、その過程を通じて、主体的な研究態度等を身につけます。

（政策科学系）

■　導入科目である専攻共通科目において、法律学・政策科学の全体を俯瞰し、自らが専門として研究しようとする分野の法学全体の中での位置づけを把握するために必要となる知識を修得します。

■　また、同時並行的に、専門基礎科目で政策科学固有の調査研究方法論の基礎を系統的に学習し、自らの専門的研究からの適切なアプローチの手法、課題解決に必要な情報収集・分析能力、政策評価能力の基盤を築きます。

■　専門科目では、自らが専門として研究する政策科学分野の高度で精緻な専門的知識とともに、課題発見・解決能力、高度化・複雑化する地域社会の諸問題に対応できる総合的な視野を形成する上で必要となる関連分野の基礎的素養を身につけます。

■　研究者コースでは、担当指導教員の個別指導のもとで、将来研究者として自立するために必要な能力を身につける特別研究を履修します。専門科目で修得した高度な専門的知識と総合的な視野、専門基礎科目で身につけた調査研究方法を駆使し、自らが専門とする政策科学分野の研究を一層深め、確かな情報収集・分析能力、課題解決に有用な政策立案能力・政策評価能力を形成します。また、その

過程を通じて、政策学的な観点から説得力のある議論を展開していく能力や主体的な研究態度等を身につけます。

② 専修コース

高度な専門知識を有する職業人・知的素養のある社会人を目指す人のために、学部での学習や社会人としての経験から関心を持った特定の課題について、幅広い視野に立ちながら、より専門性の高い研究ができるように指導するコースです。各自が希望する専門分野に応じて、法律学系、政策科学系の２つの系を設置しています。また、夜間のみの受講で修了可能なように時間割が組まれています。

（法律学系）

■ 導入科目である専攻共通科目において、法律学・政策科学の全体を俯瞰し、自らが専門として研究しようとする分野の法学全体の中での位置づけを把握するために必要となる知識を修得します。

■ また、同時並行的に、専門基礎科目で法律学固有の調査研究方法論を含む法律文献調査の基礎を系統的に学習し、論理的・批判的な分析能力の基盤を築きます。

■ 専門科目では、自らが専門として研究する法分野の高度で精緻な専門的知識とともに、地域社会で中核的な役割を担う高度専門職業人・知的素養のある社会人として必要となる法分野の専門的・実務的知識を幅広く学習します。

■ 専修コースでは、各自の経験から関心をもった特定の課題について、複数の教員による指導体制のもとで研究していく特定課題研究を履修します。特定課題研究では、幅広い視野に立ちながら、専門科目で修得した高度な専門的・実務的知識、専門基礎科目で身につけた調査研究方法を駆使し、特定の課題を法学的な観点から深く掘り下げて研究し、批判的分析能力・論理的思考能力、地域社会の中でリーダーシップを発揮する積極的・主体的な行動力等を身につけます。

（政策科学系）

■ 導入科目である専攻共通科目において、法律学・政策科学の全体を俯瞰し、自らが専門として研究しようとする分野の法学全体の中での位置づけを把握するために必要となる知識を修得します。

■ また、同時並行的に、専門基礎科目で政策科学固有の調査研究方法論の基礎を系統的に学習し、自らの専門的研究からの適切なアプローチの手法、課題解決に必要な情報収集・分析能力、政策評価能力の基盤を築きます。

■ 専門科目では、自らが専門として研究する政策科学分野の高度で精緻な専門的知識とともに、地域社会で中核的な役割を担う高度専門職業人・知的素養のある社会人として必要となる政策科学分野の専門的・実務的知識を幅広く学習します。

■ 専修コースでは、各自の経験から関心をもった特定の政策的課題について、複数の教員による指導体制のもとで研究していく特定課題研究を履修します。特定課題研究では、幅広い視野に立ちながら、専門科目で修得した高度な専門的・実務的知識、専門基礎科目で身につけた調査研究方法を駆使し、特定課題を深く掘り下げて研究し、実証的調査研究能力・実践的政策提言能力、地域社会の中でリーダーシップを発揮する積極的・主体的な行動力等を身につけます。

(4)　担当教員、専門分野・研究テーマ（非常勤講師は除く）

（法律学系）

分　野	教　員　名		専門分野・研究テーマ
憲　　法	○　教　授	中村　英樹	憲法、自己決定権論、表現の自由論、放送法制を中心としたメディア法論
行　政　法	○　教　授	井上　禎男	行政法、放送・通信法制、情報公開・個人情報保護法制、災害・防災と法制度、地方自治法制
行　政　法	○　准教授	近藤　卓也	行政法、国家賠償法制、公務員の個人責任、水害訴訟
民　　法	○　教　授	矢澤　久純	民法、損害賠償論、時効制度など
民　　法	○　教　授	福本　忍	民法、契約解除の基礎理論・要件論、解除と危険負担の関係、フランスの解除法制
民　　法	○　准教授	和泉澤　千恵	民法、医事法(特に、医療スタッフ規定にかかる業務分担論)
民　　法	○　准教授	清水　裕一郎	民法、担保物権法、特に動産担保（動産先取特権、譲渡担保、所有権留保など）に関する諸問題
商　　法	教　授	高橋　衛	商法、コーポレート･ガバナンスと会社法、取締役責任論
民事訴訟法	准教授	齋藤　友美子	民事訴訟法、多数当事者訴訟、判決効
刑　　法	○　准教授	大杉　一之	刑法、違法論と正当化理論、とくに正当防衛と承諾の正当化根拠と要件
刑事訴訟法	○　教　授	水野　陽一	刑事手続における公正な裁判、個人情報保護（遺伝情報、AI の社会実装等）、被害者の権利
刑　事　学	○　教　授	藤田　尚	刑事政策、犯罪学、少年非行、司法と福祉の連携、社会的養護と犯罪予防
法社会学	○　教　授	林田　幸広	理論法社会学、後期近代の法主体論・公共性論
国　際　法	○　教　授	二宮　正人	国際法、国際機構法（国際機構と加盟国との間の法的関係の分析：安全保障・人権・開発分野の活動を対象に）
社会保障法	○　教　授	津田　小百合	社会保障法、社会保険制度の基礎構造に関する法的諸問題
労　働　法	准教授	岡本　舞子	労働法、労働時間法、労働契約論

○は研究指導教員（「○」記載の教員から研究指導教員を選び、インターネット出願システムに登録してください。）

（注1）　研究指導教員を選ぶにあたっては、志願者の研究計画と教員の研究領域のミスマッチを防ぐため、出願前に、以下の Forms に必要事項を入力し、履歴書及び研究計画書を指定のメールアドレス宛に送付の上、希望する教員との面談により研究指導について確認を行った後、出願手続きを行うことを推奨します。

＜Forms＞
URL: https://forms.cloud.microsoft/r/FnACZXbxUW
＜メールアドレス＞
E-mail: nyushi2@kitakyu-u.ac.jp

二次元コード

（注2）　各研究指導教員の詳細な研究分野及び指導領域は、以下の URL 又は二次元コードを参照してください。

＜大学 HP＞
URL: https://www.kitakyu-u.ac.jp/entrance-exam/graduate/guideline.html

二次元コード

（注3）　科目、指導教員等については、本募集要項公開時点の情報です。変更になる場合がありますので、ご了承ください。

（政策科学系）

分　野	教　員　名		専門分野・研究テーマ
政 治 思 想	○　教　授	大 澤　　津	政治理論、特に分配的正義論
比較政治学	准教授	田 中　　聡	比較政治学、国際関係論、平和構築論、旧ユーゴスラヴィア地域研究
公共政策論	准教授	高 木　　超	公共政策論・政策過程論（特に、都市のサステナビリティ、自治体政策研究、計画行政）
環境政策論	○　教　授	申　　東 愛	政策過程、制度比較分析（日韓中、独逸、米国の環境政策）、環境政策、低炭素都市政策（日韓中、独逸）、再生エネルギー政策、ガバナンス論
福祉政策論	○　教　授	狭 間　　直 樹	行政学、社会保障論、公共サービス（特に社会福祉サービス）の民営化・市場化、非営利組織の公益性についての研究
政策評価論	○　准教授	横山　麻季子	行政学、地方自治論、特に地方自治体における評価制度・活動による行政サービス等へのインパクトに関する実証研究など
行　政　学	○　准教授	黒 石　　啓 太	行政学、地方自治論
都市社会学	○　教　授	吉 田　　舞	都市社会学（都市政策・地域社会・移民政策・労働問題・東南アジア地域研究）
都市経済論	准教授	松 嶋　慶 祐	地域経済学、人文地理学
政治行動論	准教授	澁 谷　　壮 紀	政治行動論、計量政治学、政治学方法論
都市工学論	○　教　授	石 松　　一 仁	土木環境システム、ランドスケープ科学、特に持続可能な人と自然の関係性についての研究

○は研究指導教員（「○」記載の教員から研究指導教員を選び、インターネット出願システムに登録してください。）

（注1）研究指導教員を選ぶにあたっては、志願者の研究計画と教員の研究領域のミスマッチを防ぐため、出願前に、以下の Forms に必要事項を入力し、履歴書及び研究計画書を指定のメールアドレス宛に送付の上、希望する教員との面談により研究指導について確認を行った後、出願手続きを行うことを推奨します。

＜Forms＞
URL: https://forms.cloud.microsoft/r/FnACZXbxUW
＜メールアドレス＞
E-mail: nyushi2@kitakyu-u.ac.jp

二次元コード

（注2）各研究指導教員の詳細な研究分野及び指導領域は、以下の URL 又は二次元コードを参照してください。

＜大学 HP＞
URL: https://www.kitakyu-u.ac.jp/entrance-exam/graduate/guideline.html

二次元コード

（注3）科目、指導教員等については、本募集要項公開時点の情報です。変更になる場合がありますので、ご了承ください。

(5) 授業科目

［単位数］1 科目 2 単位

科目区分		科目名
専攻共通科目*1		法政総合演習
法律学系科目	専門基礎科目*2	法学演習
	専門科目	憲法Ａ　Ⅰ～Ⅳ 憲法Ｂ　Ⅰ～Ⅳ 行政法Ａ　Ⅰ～Ⅳ 行政法Ｂ　Ⅰ～Ⅳ 民法Ａ　Ⅰ～Ⅳ 民法Ｂ　Ⅰ～Ⅳ 民法Ｃ　Ⅰ～Ⅳ 民法Ｄ　Ⅰ～Ⅳ 商法Ａ　Ⅰ～Ⅳ 商法Ｂ　Ⅰ～Ⅳ 民事訴訟法　Ⅰ～Ⅳ 刑法Ａ　Ⅰ～Ⅳ 刑法Ｂ　Ⅰ～Ⅳ 刑事訴訟法　Ⅰ～Ⅳ 刑事学　Ⅰ～Ⅳ 労働法　Ⅰ～Ⅳ 社会保障法　Ⅰ～Ⅳ 国際法　Ⅰ～Ⅳ 法哲学　Ⅰ～Ⅳ 法社会学　Ⅰ～Ⅳ
	特別研究科目*3	特別研究　Ⅰ～Ⅷ
	特定課題研究科目*4	特定課題研究　Ⅰ～Ⅷ

科目区分		科目名
政策科学系科目	専門基礎科目*5	政策調査法
	専門科目	政治学　Ⅰ～Ⅳ 行政学　Ⅰ～Ⅳ 政治思想　Ⅰ～Ⅳ 都市社会学　Ⅰ～Ⅳ 都市経済論　Ⅰ～Ⅳ 公共政策論　Ⅰ～Ⅳ 福祉政策論　Ⅰ～Ⅳ 環境政策論　Ⅰ～Ⅳ 政策評価論　Ⅰ～Ⅳ 政治行動論　Ⅰ～Ⅳ 都市工学論　Ⅰ～Ⅳ 比較政治論　Ⅰ～Ⅳ
	特別研究科目*6	特別研究　Ⅰ～Ⅷ
	特定課題研究科目*7	特定課題研究　Ⅰ～Ⅷ

*1 専攻共通の必修科目
*2 法律学系共通の必修科目
*3 研究者コース(法律学系)の必修科目
*4 専修コース(法律学系)の必修科目
*5 政策科学系共通の必修科目
*6 研究者コース(政策科学系)の必修科目
*7 専修コース(政策科学系)の必修科目

※コースによって修了要件が異なります。また年度によって開講されない科目もあります。
※授業科目は変更する場合があります。

2　社会システム研究科

（1）　現代経済専攻

①　目的

国内外の経済社会の動向を的確に把握し、経済・経営の抱える課題について実践的、理論的に解決策を提示できる人材及び公共的業務や企業等において活躍できる高度な専門職業人を養成します。

②　取得学位

修士（経済学）

③　科目、研究指導教員、専門分野・研究テーマ、指導領域

分野	科目	研究指導教員名	専門分野・研究テーマ	指導領域
経済	労働経済学	畔津　憲司	労働経済学や行動経済学に関する研究など	労働経済学などの領域
	ミクロ経済学	姉川　恭子	教育経済学や高等教育政策、大学の運営・経営支援に関する実証研究を主に行なっています。	教育データを始めとした応用ミクロ経済学の実証分析の研究に対応可能です。
	環境経済学	牛房　義明	因果推論、行動経済学などの知見を活用したフィールド実験をエネルギー、ジェンダーなどの分野で行っています。	ミクロ経済学をベースにした理論分析、実証分析の研究に対応可能です。
	国際経済論	魏　芳	国際相互依存下の貿易・投資・産業政策の経済分析を主なテーマとしています。グローバル・バリューチェーン（GVC）に関する理論・実証分析にも関心を持っています。	国際経済、国際貿易、応用ミクロ経済分析など、主に理論分析を中心に指導を行います。統計データを活用した実証研究も歓迎します。
	産業組織論	後藤　宇生	構造推定と仮想実験を道具に、企業間競争、特に多市場接触や内生的製品属性の分野に興味を持って、分析を行なっています。	POS データ等を利用した、消費者行動(差別化された財の需要関数の推定等)と企業間競争(需要関数の推定値とゲーム理論を利用した仮想実験等)の研究に興味のある方は、ご連絡ください。
	新興国経済論	白石　麻保	アジアの新興国経済に生じている諸問題を計量分析と現地調査の双方を用いてミクロ方面から分析しています。主な対象は中国です。	アジアの新興国、途上国経済、市場についての統計データを活用したミクロ実証研究で、フィールドワークを含む政策提言を重視する研究が対応領域です。
	マクロ経済学	田中　淳平	マクロ経済学の様々なトピックス（バブル経済、財政・金融政策、二重労働市場など）に関心があります。	マクロ動学モデルに基づく理論分析が主な指導領域になります。
	地域経済論	田村　大樹	情報社会の進展に伴い地域経済がどのように変化するかについて、経済地理学的方法論から考察しています。	経済地理学、産業立地論、都市経済論、情報社会論、といった研究領域に関する方法論研究であれば対応可能です。
	経済史	土井　徹平	１９世紀末から２０世紀初頭の日本経済史を専門としています。特に地域・職業間の「労働移動」の分析を通じて、近代産業の発展に伴う労働市場の形成・発展のプロセスを実証的に明らかにする研究を行っています。	１９世紀末から２０世紀初頭（第二次世界大戦前）の日本経済史、産業史、労働史、労使関係史など。北九州の地域経済史に関する研究にも対応可能です。
	計量経済学	藤井　敦	医療関連産業の生産面における実証的効率性分析を行っています。特に、統計的分析と親和性の高い経済学的モデル開発に関心があります。	計量経済学的効率性分析。
会計・経営	情報管理基礎	池田　欽一	情報工学手法の経済・経営データへの応用をテーマとしています。ただし、少数データの性質に着目したものではなく、多量のデータを用いた研究を行っています。	経済・経営データに限らず、多量のデータを得ることができる分野への AI・機械学習的手法の応用が主で、分野やデータの性質に応じた分析などには対応できない場合があります。
	管理会計	市原　勇一	企業・組織における管理会計を中心とするマネジメント・コントロール・システムの利用とその効果について、主に定性的な方法に基づいた研究を行っています。	心理学・社会学を用いた管理会計、マネジメント・コントロール・システム領域の研究
	経営戦略論	浦野　恭平	企業、特に中小企業のイノベーションの促進要因ついて研究しています。リーダシップや組織能力の側面、そして、外部連携についての調査などを実施しています。	経営戦略論、組織論、人的資源管理論、そして、マーケティング領域からの研究指導に対応しますが、調査・分析方法は定性的な手法をとっています。
	経営組織論	山下　剛	経営学、経営組織論が専門で、主として企業を念頭に、組織と人間の関係性に関する理論的な研究を行っています。	モチベーション論をはじめとした組織行動論の領域、日本企業の組織的な特性についての研究などです。

上表の中から研究指導教員を選び、インターネット出願システムに登録してください。

（注1）研究指導教員を選ぶにあたっては、志願者の研究計画と教員の研究領域のミスマッチを防ぐため、出願前に、以下の Forms に必要事項を入力し、履歴書及び研究計画書を指定のメールアドレス宛に送付の上、希望する教員との面談により研究指導について確認を行った後、出願手続きを行ってください。

＜Forms＞

URL: https://forms.cloud.microsoft/r/xCsheiS8iJ

二次元コード

＜メールアドレス＞

E-mail: nyushi2@kitakyu-u.ac.jp

（注2）募集要項公開後に追加された研究指導教員については、本学ホームページで確認してください。

（注3）科目、指導教員等については、本募集要項公開時点の情報です。変更になる場合がありますので、ご了承ください。

(2)　地域コミュニティ専攻

①　目的

地域コミュニティの現代的再生を目指し、人間関係に係る学際的学問領域を統合した高度専門リカレント教育と高度な専門職業人を養成します。

②　取得学位

修士（人間関係学）

③　科目、研究指導教員、専門分野・研究テーマ、指導領域

分野	科目	研究指導教員名	専門分野・研究テーマ	指導領域
コミュニティ基礎	教育制度論	児玉　弥生	学校と地域社会の連携･共同について研究しています。特に学校における教育課程の設計と実施の過程に関心があります。	教育制度、比較教育、教育経営、教育社会学、カリキュラム開発等。外国にルーツのある子どもの教育と保護者の支援等も対応可能。教育と福祉の学際的なテーマも歓迎します。
	社会心理学	田島　司	自己やアイデンティティの問題を社会的相互作用とのかかわりから検討する社会心理学的な基礎研究をしています。	社会心理学分野の先行研究をふまえて、心理的機制を議論し、量的な実証研究を行うのであれば、扱う現象は広く対応可能です。
	生涯学習論	恒吉 紀寿	市民活動や運動など活動･実践を通した成人や子どもの主体（的力量）形成（のプロセス）やその支援について関心を持っています。	社会教育、地域、社会を中心に人間の育ち（成長、変容）に関わる研究や、それにかかわる施策、事業、行政の研究も可能です。
	認知心理学	松本 亜紀	注意、記憶、情動をテーマに認知心理学的研究を行っています。特にストループ･逆ストループ干渉についての基礎的研究に関心があります。	認知心理学、実験心理学が専門です。実験や調査を通した量的研究に対応可能です。
コミュニティ実践	福祉コミュニティ論	坂本 毅啓	現代社会における社会福祉について、臨床（ミクロ）、地域（メゾ）、制度・政策（マクロ）を横断的に研究をしています。地域における社会的排除、ソーシャルワーク教育における ICT 活用が最近の主なテーマです。	社会福祉学、社会保障制度、社会福祉政策、地域福祉、貧困・社会的排除、ソーシャルワーク教育など。ミクロ、メゾ、マクロレベルの実践、制度・政策、理論など、社会福祉学によるアプローチであれば幅広く対応可能です。
	障害者福祉論	深谷　裕	障害者、元受刑者、外国人など社会的マイノリティの地域定着に向けて、個人支援と社会的支援の在り方を長期的視点から検討し、質的･量的手法を用いて実証的に研究しています。	社会福祉学を基盤に、犯罪学、社会学、教育学、地域政策など隣接領域の知見を活用し、社会的マイノリティの支援の在り方や社会的排除の構造、当事者との関係構築等について、学生の関心に応じて多角的に指導を行います。
	教育心理学	山下　智也	子どもの主体性を保障するための大人の居方･関わり方や、それを取り巻く子どもの環境（遊び場・居場所）などについて、実践と研究の両輪でアプローチしています。	教育心理学、環境心理学など。ベースとしての心理学を学んだ上での、応用的かつ質的な研究に対して、指導可能です。
	都市マネジメント学	小林　敏樹	公共空間の利活用、エリアマネジメント、交通、観光、教育、まちあるき、文化、こども、健康や医療、空き家の活用など、多様な視点から持続可能な地域やまちのあり方について研究を行っています。	都市計画、建築、地域政策、教育、観光、交通、福祉、医療など、まちづくり、地域づくりに関する多様な分野の研究テーマに対応可能です。
	教授･学習心理学	上田　紋佳	読書をはじめとする言語活動および児童の言語発達に関して，心理学的観点から研究しています。また，教育・臨床実践への応用にも関心があります。	言語・認知や発達に関する心理学研究に広く対応可能です。また，教授・学習心理学などの知見を応用した実践的な教育研究も歓迎します。
フィールド文化	環境社会学	岩松　文代	人と自然の関わり方を人文社会的に研究しています。歴史や交流、地理や生態、産業や消費、言語や精神性など、様々な視点で考察しています。	環境社会学、自然文化学を基本として、人と自然の関わり方の解明や課題解決をテーマに、史料による歴史調査、文学や絵画等を用いた自然の考察、現代の農山漁村地域の人々を対象とする社会調査なども対応しています。
	フィールドワーク論	竹川　大介	人類学の分野でフィールドワークを主体としたコミュニティ研究をおこなっています。人類学、海洋民族学、沖縄地域研究、アジア太平洋地域研究。	これまでの院生は人と環境の関わり、共同体における紛争解決、贈与交換と交易、アートと人間性など、人に関わるさまざまなテーマで、国内外の多地域をフィールドに社会調査をおこなっています。
	文化社会学	濱野　健	社会学を専門にしています。家族とりわけ離婚を経験した別居家族のその後の共同養育について関心を持っています。	家族社会学
	臨床社会学	西田　心平	都市・地域をフィールドにした歴史的・社会学的な研究が専門です。観察と関与の両面を含んだフィールドワークに関心があります。	社会病理学、臨床社会学、質的調査法、エスノグラフィーなど、フィールドに入り込む際の視点や方法、調査・記述の方法について学びたい方を歓迎します。

上表の中から研究指導教員を選び、インターネット出願システムに登録してください。

（注1）研究指導教員を選ぶにあたっては、志願者の研究計画と教員の研究領域のミスマッチを防ぐため、出願前に、以下の Forms に必要事項を入力し、履歴書及び研究計画書を指定のメールアドレス宛に送付の上、希望する教員との面談により研究指導について確認を行った後、出願手続きを行ってください。

＜Forms＞

URL: https://forms.cloud.microsoft/r/xCsheiS8iJ

二次元コード

＜メールアドレス＞

E-mail: nyushi2@kitakyu-u.ac.jp

（注2） 募集要項公開後に追加された研究指導教員については、本学ホームページで確認してください。

（注3） 科目、指導教員等については、本募集要項公開時点の情報です。変更になる場合がありますので、ご了承ください。

(3)　文化・言語専攻

①　目的

文化と言語に係る専門知識と能力を涵養し、深い洞察力と広い視野を持つ人材の養成及び高度な専門職業人を養成します。

②　取得学位・資格等

修士（英米言語文化）・（中国言語文化）・（比較文化）

免許状／中学校教諭専修免許状（英語）　高等学校教諭専修免許状（英語）

③　科目、研究指導教員、専門分野・研究テーマ、指導領域

領域	科目	研究指導教員名	専門分野・研究テーマ	指導領域
英米言語文化	イギリス文化研究	Adam Hailes	My main research interest is in British theatre. I am particularly interested in the stagecraft of William Shakespeare and theories of pleasure.	I would be happy to supervise theses that focus on British theatre, Shakespeare, English literature, and the ways in which forms of entertainment can shape public opinion.
	第二言語習得研究	Jenifer Larson-Hall	Second language acquisition, research methodology, language teacher training, fluency, vocabulary	Introduction to Linguistics, Phonetics & Phonology, Language Learning, Bilingualism, English Conversation, Vocabulary Acquisition Zemi
	アメリカ文化研究	齊藤　園子	19 世紀から 20 世紀にかけてのアメリカ文学を中心に研究してきました。特に、ヨーロッパへの移住や滞在の経験を持つ在欧・滞欧アメリカ人作家の作品における文化的アイデンティティを主な研究テーマにしています。	19 世紀から 20 世紀にかけてのアメリカ文学および英語圏文学の研究を歓迎します。映像作品（映画やテレビなど）との関連も対応できます。
	現代イギリス文学研究	濱　奈々恵	イギリス文学を研究しています。長らく取り組んでいるのは、19 世紀の作家ジョージ･エリオットと帝国主義･帝国意識の関係です。同時に現代小説も研究しており、主な研究対象は（旧）植民地出身の作家やブッカー賞です。	19 世紀以降の英語圏小説、およびブッカー賞の候補作品・受賞作品の研究に対応できます。文学を社会的、歴史的コンテクストから研究する姿勢を歓迎します。
中国言語文化	中国語教育論研究	胡　玉華	中国語教育に関する実践研究を行っています。特にコミュニケーション能力をアップさせるための教室活動の設計に関心をもっています。	中国語教授法に関する実践的研究（例えば、声調学習における指導法、諸文法項目の教え方など）が大歓迎です。また、「教学文法」の研究や中国語教育に関わる中国文化の研究にも対応可能です。
	中国民間文学研究 中国古典文学研究	武井　満幹	陶淵明、『文選』を中心に、中国六朝時代の文学を研究しています。詩文に使われている語や表現に注目し、それらが何に基づきどう継承発展されているのかという点に関心があります。	中国古典文学・漢詩・漢文
比較文化	日英比較文化研究	Fiona Creaser	My research focuses on gender and diversity, I am currently involved in three main areas of research, one is called Unity in Diversity which aims to bring instruction about diversity to students at UKK, the second is teaching young people about diversity through the Kids2Kids foundation and the third is teaching about diversity to older people in the community using i-Design Community College as the medium of instruction.	Areas of instruction include, diversity, gender, intercultural culture, women's empowerment and queer studies.
	日米比較文化研究	Rodger Williamson	ラフカディオ・ハーンの著作活動や未刊資料、自筆ノートを通じて、彼の世界観が形成された過程を明らかにすることを主なテーマとしています。特に、当時の社会問題への洞察、異文化環境における適応の在り方に関心があります。	比較文化論、ラフカディオ･ハーン研究、異文化コミュニケーション、異文化適応に関する研究などに対応可能です。すべての指導は英語で行われ、英語による研究活動および論文執筆の経験が求められます。
	日本美術史研究	五月女　晴恵	絵巻を中心とした日本の中世絵画を研究しています。近年の主な研究対象は、次の通りです。「鳥獣人物戯画」甲・乙巻、「彦火々出見尊絵巻」、「一遍聖絵」、「土蜘蛛草紙絵巻」、金戒光明寺所蔵本系「俵藤太絵巻」等。	日本美術史学（中世の絵巻･説話画を中心とする）。
	日本宗教文化研究	齋藤　公太	近世・近代日本の宗教思想史を研究しています。特に『神皇正統記』などの古典的テクストがそれぞれの時代状況のなかでいかに解釈されてきたかという問題に着目してきました。最近は近代の宗教哲学にも関心を持っています。	近世･近代を中心に、日本の宗教思想史、および宗教史についての研究を指導領域とします。対象となる宗教は神道、仏教、儒教、キリスト教など。
	理論言語学研究 （形態論）	圃迫　雅彦	生成文法理論に基づく言語獲得のメカニズム解明に焦点を当てています。特に、日本語や英語を母語とする幼児の言語発達過程における機能範疇の習得に注目し、統語構造の発達を実証的に分析しています。	生成文法理論を基盤とした言語獲得研究、言語間の比較研究について、実証的なデータ分析と理論的枠組みを融合させた研究に対応できます。

（次ページに続く）

領域	科目	研究指導教員名	専門分野・研究テーマ	指導領域
比較文化	理論言語学研究（統語論）	永末　康介	日本語の統語構造と文法現象を理論言語学（主に生成文法理論）の観点から分析します。日本語と他言語との統語現象の比較研究や理論的知見を応用した言語教育への展開にも関心があります。	理論言語学に基づく統語分析や、言語変異・変化の研究など。
	日本表象文化研究	真鍋　昌賢	これまで近現代日本の大衆芸能・口承文芸に関心をもち、声の表現が、様々なメディアと関わりながら、どのように生成・受容されてきたのかを研究してきました。主な研究対象は浪曲です。	メディア史、メディア論の知識を前提として、近現代日本における大衆芸能史、口承文芸についての研究（特に口頭芸）を指導領域としています。

上表の中から研究指導教員を選び、インターネット出願システムに登録してください。

（注１）研究指導教員を選ぶにあたっては、志願者の研究計画と教員の研究領域のミスマッチを防ぐため、出願前に、以下の Forms に必要事項を入力し、履歴書及び研究計画書を指定のメールアドレス宛に送付の上、希望する教員との面談により研究指導について確認を行った後、出願手続きを行ってください。

＜Forms＞
URL: https://forms.cloud.microsoft/r/xCsheiS8iJ

二次元コード

＜メールアドレス＞
E-mail: nyushi2@kitakyu-u.ac.jp

（注2）募集要項公開後に追加された研究指導教員については、本学ホームページで確認してください。

（注3）科目、指導教員等については、本募集要項公開時点の情報です。変更になる場合がありますので、ご了承ください。

(4) 授業科目

専攻	領域	区分		授業科目	単位	区分		授業科目	単位
現代経済	経済学	専門基礎科目	経済科目群	マクロ経済分析基礎	2	専門科目	経済科目群	マクロ経済学	2
				ミクロ経済分析基礎	2			ミクロ経済学	2
				計量経済分析基礎	2			財政学Ⅱ	2
				財政学Ⅰ	2			金融論	2
				地域経済論	2			国際金融論	2
				国際経済論	2			産業組織論	2
				経済史	2			統計学	2
			経営科目群	会計学Ⅰ	2			計量経済学	2
				財務会計Ⅰ	2			労働経済学	2
				経営学Ⅰ	2			環境経済学	2
				マーケティング	2			新興国経済論	2
				経営組織論	2		経営科目群	会計学Ⅱ	2
				情報管理基礎	2			財務会計Ⅱ	2
								管理会計	2
								経営学Ⅱ	2
								経営戦略論	2
								コーポレート・ファイナンス	2
								人的資源管理	2
								企業論	2
地域コミュニティ	人間関係学	専門基礎科目	コミュニティ理論科目群	社会心理学	2	専門科目	コミュニティ理論科目群	認知心理学	2
				生涯学習論	2			教育制度論	2
			コミュニティ実践科目群	臨床心理学	2		コミュニティ実践科目群	教授・学習心理学	2
				教育心理学	2			福祉コミュニティ論	2
				社会福祉援助論	2			障害者福祉論	2
				都市マネジメント学	2		フィールド文化科目群	フィールドワーク論	2
			フィールド文化科目群	文化社会学	2			環境社会学	2
				臨床社会学	2				
文化・言語	英米言語文化	専門基礎科目	英米言語文化科目群	イギリス文学研究概論	2	専門科目	英米言語文化科目群	英語表現法	2
				アメリカ文学研究概論	2			現代イギリス文学研究	2
				英語学研究概論	2			イギリス文学研究	2
				英語教育法研究概論	2			イギリス文化研究	2
								現代アメリカ文学研究	2
								アメリカ文学研究	2
								アメリカ文化研究	2
								社会言語学研究	2
								英語翻訳研究	2
								英語通訳研究	2
								第二言語習得研究	2
	中国言語文化	専門基礎科目	中国言語文化科目群	中国語法研究概論	2	専門科目	中国言語文化科目群	中国民族文化研究	2
				中国文化研究概論	2			中国哲学史研究	2
				中国思想文化研究概論	2			中国語教授法研究	2
								中国民間文学研究	2
								中国文化史研究	2
								中国古典文学研究	2
								中国語音声学研究	2
								中国語教育論研究	2

専攻	領域	区　分		授　業　科　目	単位	区　分		授　業　科　目	単位
文化・言語	比較文化	専門基礎科目	比較文化・言語科目群	比較文化研究概論	2	専門科目	比較文化・言語科目群	日本宗教文化研究	2
				日本文化研究概論	2			日本美術史研究	2
				言語学研究概論	2			日本表象文化研究	2
				比較文学研究概論	2			日本古典文学研究	2
								比較広域文学研究	2
								比較広域文化研究	2
								ヨーロッパ比較文化研究	2
								日英比較文化研究	2
								日米比較文化研究	2
								理論言語学研究(形態論)	2
								理論言語学研究(統語論)	2

【全専攻共通科目】

区　分		授　業　科　目	単位
特別研究科目		特別研究基礎	2
		特別研究 1	2
		特別研究 2	2
		特別研究 3	2
専攻共通科目		社会システム総合概論	2
	留学生特別科目	日本語特別研究	2

※法学研究科・社会システム研究科共通

様式1

受験番号 （記入不可）

2027年度北九州市立大学大学院入学志願者調書

志願研究科（専攻）	法学研究科	／	社会システム研究科	専攻
フリガナ 氏　　名				
出身大学 学部・学科	（　　年　　月　　日 卒・卒見）			
最終学歴	（　　年　　月　　日 卒・卒見）			

○大学又は大学院での専攻分野について記入してください。

大学又は大学院でのゼミ若しくは専攻の専門分野	
指導教員名	

○本大学院で研究しようとする分野及び研究指導教員について記入してください。

本大学院で研究しようとする専門分野	
希望する研究指導教員名	

○本大学院での研究修了後の進路又は研究の成果をどのように役立てるのか記入してください。

（裏面あり）

●法学研究科志望者

(1)**研究計画書・入学志望理由書**等　※個別の入学資格審査で認定された志願者については提出不要です。

次の様式に従って研究計画書を作成してください。その際、**必ず志望研究科名と名前を明記**してください。

選抜区分	内　容	様　　式
一般選抜 外国人特別選抜	研究計画書 入学志望理由書	それぞれ A4 用紙 1 枚程度 ワープロ可
社会人特別選抜	研究計画書 2000～4000 字程度 入学志望理由書 2000 字程度	ワープロ原稿が 望ましい

●社会システム研究科志望者

(1)**研究計画書**　※個別の入学資格審査で認定された志願者については提出不要です。

研究テーマ及び研究計画について A4 用紙 1 枚（1200 字程度）で作成してください。
なお、**必ず志望専攻名と名前を明記**してください。

(2)**志望理由**　※個別の入学資格審査で認定された志願者については提出不要です。

※法学研究科用

様式2(その1)

2027年度北九州市立大学大学院
法学研究科(修士課程)入学資格審査申請書

選抜区分	日程
□ 一般選抜　□ 社会人特別選抜　□外国人留学生特別選抜	□夏期日程　□冬期日程

フリガナ	性　別	
氏　名	男　・　女	写真貼付欄 ・縦4cm×横3cm ・上半身、脱帽、無背景、正面向き ・出願前3ヶ月以内に撮影したもの ・写真の裏に氏名を記入し、全面のり付け
氏名のアルファベット(大文字)表記（姓・名の順）		
生年月日(西暦) 年　月　日 年　齢(2027年４月１日時点)　＿＿＿＿歳	国・地域(留学生のみ)	

現住所※通知等の書類は全てこの住所に送付されます。海外在住の方で送付先が異なる場合は必ずお知らせください。

郵便番号　－
住　所
電話番号（　　）　－　　携帯電話（　　）　－
E-mail

緊急連絡先(本人以外)※日本国内居住者に限る

郵便番号　－
住　所
フリガナ
氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　（続柄）＿＿＿＿＿＿
電話番号（　　）　－　　携帯電話（　　）　－
E-mail

○志望するコース・分野の□欄にレを記入してください。選択科目覧は試験科目名を記入してください

研究科名	コース	分　野	選択科目	希望する研究指導教員
法学研究科	□ 研究者コース □ 専修コース	□ 法律学系 □ 政策科学系	第１類選択科目名（注１） 第２類選択科目名（注２）	

※受験番号の欄は記入しないこと。
※(注１)（注２）選択科目は６ページの試験科目「別表１及び２」を参照し、記入すること。**社会人特別選抜は記入不要。**
※(注３)希望する研究指導教員名は21～22ページの研究指導教員(「**○**」**記載の教員**)から選んで記入すること。

（裏面へ）

※法学研究科用

履歴書		
年　　月	年数	経　歴　等（学歴・職歴・研究歴等について記入のこと）
自　　年　　月 至　　年　　月		小学校名（初等教育）※外国人留学生のみ記入
自　　年　　月 至　　年　　月		中学校名（中等教育）※外国人留学生のみ記入
自　　年　　月 至　　年　　月		高等学校名（中等教育）
自　　年　　月 至　　年　　月		大学・学部・学科・専攻名（高等教育）
自　　年　　月 至　　年　　月		大学院・研究科・専攻名（高等教育）
自　　年　　月 至　　年　　月		
自　　年　　月 至　　年　　月		
自　　年　　月 至　　年　　月		職歴
自　　年　　月 至　　年　　月		
自　　年　　月 至　　年　　月		
自　　年　　月 至　　年　　月		

※編入学等の履歴については空欄に記入すること

〇研究成果・報告書・公的資格などこれからの研究の参考となる経歴について記入すること。

年・月	タイトル	備考（論文の内容・認定機関名他）

※社会システム研究科用

様式2（その1）

2027年度北九州市立大学大学院
社会システム研究科（博士前期課程）入学資格審査申請書

選抜区分	日程
□ 一般選抜　□ 社会人特別選抜　□外国人留学生特別選抜	□夏期日程　□冬期日程

フリガナ	性別	
氏名	男 ・ 女	写真貼付欄 ・縦4cm×横3cm ・上半身、脱帽、無背景、正面向き ・出願前3ヶ月以内に撮影したもの ・写真の裏に氏名を記入し、全面のり付け
氏名のアルファベット（大文字）表記（姓・名の順）		
生年月日（西暦） 年　月　日 年齢（2027年４月１日時点）　＿＿＿歳	国・地域（留学生のみ）	

現住所※通知等の書類は全てこの住所に送付されます。海外在住の方で送付先が異なる場合は必ずお知らせください。

郵便番号　－
住所
電話番号（　　）　－　　携帯電話（　　）　－
E-mail

緊急連絡先（本人以外）※日本国内居住者に限る

郵便番号　－
住所
フリガナ
氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　（続柄）＿＿＿＿＿
電話番号（　　）　－　　携帯電話（　　）　－
E-mail

○志望する専攻、領域・分野の□欄にレを記入してください。

専　攻	領域・分野・研究科目・選択科目		希望する研究指導教員名（注３）
□ 現代経済	□ 経済分野　□ 会計・経営分野	志願科目名（注１）	
□ 地域コミュニティ	□ コミュニティ基礎　□ コミュニティ実践　□ フィールド文化		
□ 文化・言語	□ 英米言語文化領域（研究科目（注２）　）		
	□ 中国言語文化領域（研究科目（注２）　）		
	□ 比較文化領域（研究科目（注２）　） 以下、一般選抜のみ記入 □ 小論文　□ 英語 ※希望する研究指導教員の指示に従うこと		

※受験番号の欄は記入しないこと。
※（注１）志望科目は7ページの試験科目「別表」を参照し、記入すること。
※（注２）研究科目は28～29ページの科目から選んで記入すること。
※（注３）希望する研究指導教員名は24～29ページから選んで記入すること。なお、出願前に希望する研究指導教員との面談により研究指導についての確認が必要なため、24～29ページの注意書きに従って面談等を受けること。

（裏面へ）

※社会システム研究科用

履歴書		
年　　月	年数	経　歴　等（学歴・職歴・研究歴等について記入のこと）
自　　年　　月 至　　年　　月		小学校名（初等教育）※外国人留学生のみ
自　　年　　月 至　　年　　月		中学校名（中等教育）※外国人留学生のみ記入
自　　年　　月 至　　年　　月		高等学校名（中等教育）
自　　年　　月 至　　年　　月		大学・学部・学科・専攻名（高等教育）
自　　年　　月 至　　年　　月		大学院・研究科・専攻名（高等教育）
自　　年　　月 至　　年　　月		
自　　年　　月 至　　年　　月		職歴
自　　年　　月 至　　年　　月		
自　　年　　月 至　　年　　月		
自　　年　　月 至　　年　　月		

※編入学等の履歴については空欄に記入すること

<u>入学資格審査対象者</u>のうち、学歴・職歴以外で記載する事項がある場合は以下に記入すること（任意）

自　　年　　月 至　　年　　月		
自　　年　　月 至　　年　　月		
自　　年　　月 至　　年　　月		

〇研究成果・報告書・公的資格などこれからの研究の参考となる経歴について記入すること。

年・月	タイトル	備考（論文の内容・認定機関名他）

※該当者のみ提出

様式2(その2)

2027年度北九州市立大学大学院入学資格審査申請書

フリガナ 氏名	
研究科（専攻）名	・法学研究科　　コース　　分野 ・社会システム研究科　　専攻　　分野・領域・科目
指導教員名	

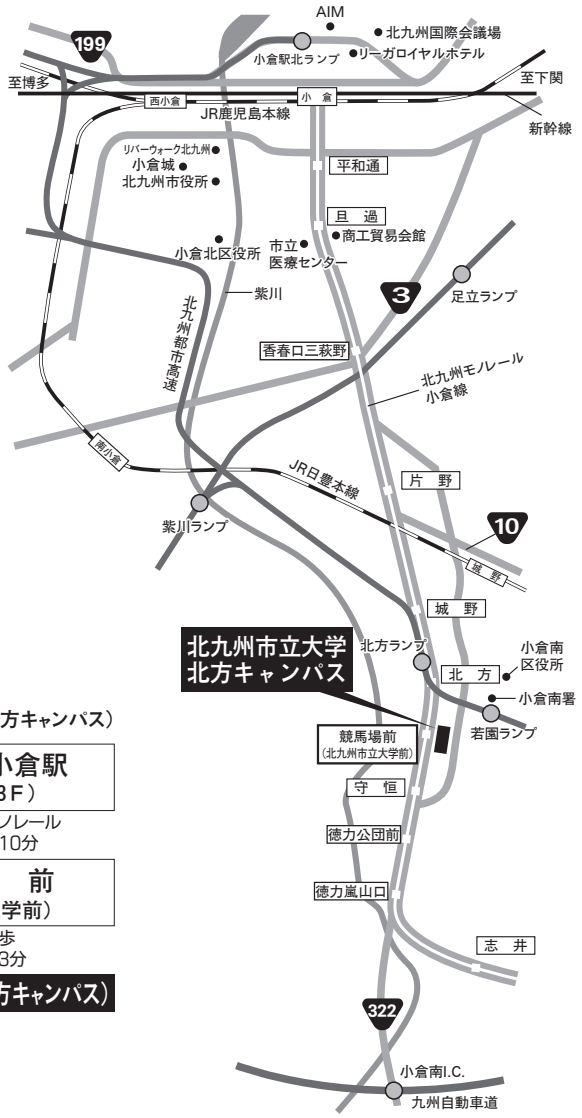
添付資料の記載内容（研究計画、研究経過報告等）…【指定した字数・枚数のものを作成すること（様式任意）】

法学研究科	研究計画書（2000 字～4000 字程度） なお、必ず志望研究科名と名前を明記してください。
社会システム研究科	研究テーマ及び研究計画について、A4 用紙 1 枚（1200 字程度）で作成すること。 なお、必ず志望専攻名と名前を明記してください。

志望理由記入欄

※不足する場合は、裏面に記入すること。

試験会場



●北九州市立大学(北方キャンパス)

モノレール小倉駅
(小倉駅ビル3F)

↓ モノレール 約10分

競馬場前
(北九州市立大学前)

↓ 徒歩 約3分

北九州市立大学(北方キャンパス)

お問い合わせ先

北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係

〒802-8577　北九州市小倉南区北方四丁目２番１号
TEL：093-964-4022
E-mail：nyushi2@kitakyu-u.ac.jp
https：//www.kitakyu-u.ac.jp/

北九州市立大学 公式マスコットキャラクター
きたきゅっち